

令和6年度第2回（第47回）魚沼市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和6年6月26日（水） 10:00 ～ 11:30
場 所	魚沼市役所本庁舎 3階 303 会議室
出席委員	17 人（うち代理出席 0 人） ※別紙、出席者名簿のとおり
欠席委員	8 人
事 務 局	6 人
傍 聴 者	1 人
会議次第	1 開 会 2 開会あいさつ 3 議 題 （報告事項） （1） 令和5年度魚沼市乗合タクシーの運行実績について（資料1） （2） 令和5年度入広瀬コミュニティバスの運行実績について（資料2） （3） 湯之谷・守門地域における乗合タクシーの利用状況について（資料3） （4） A I オンデマンド交通実証運行について（資料4） （協議事項） （1） 令和5年度事業報告及び歳入歳出決算について（資料5） （2） 地域公共交通計画「別紙」（フィーダー系統）(案)について（資料6） （3） 地域公共交通計画「別紙」（地域間幹線系統）(案)について（資料7） （4） 自家用有償旅客運送の更新登録申請(案)について（資料8） 4 その他 5 閉 会
会議結果	承認
会議概要	下記のとおり（要点記録）

1 開 会

事務局	定刻になったので、これより令和6年度第2回魚沼市地域公共交通協議会を開会する。 本日の会議は、委員総数25人のうち17人の出席をいただいております、協議会規約第12条第2項に定める過半数以上の定数に達していることから、本会議が成立していることを報告する。 また、本会議は、協議会規約第12条第7項の規定により、原則公開で行うこととしているのでご承知おき願う。 開会に当たり、会長の内田市長がご挨拶申し上げます。
-----	---

2 開会あいさつ

内田会長 （魚沼市長）	日頃、皆さんにはそれぞれの立場で、地域の公共交通をはじめ、市政運営全般にご理解とご協力をいただいていることに対し、改めて感謝を申し上げます。 さて、早いもので半年が過ぎ、一年の後半へ入ろうとしている。
----------------	--

	今年は、暖冬小雪に加え４月以降は市内各地の降水量が少なく、また例年に比べて梅雨入りが遅かったことにより稲作被害が懸念されたことから、６月議会に補正予算を上程し、農業を守る渇水対策事業にも着手しているところである。 稲作の方はちょうど今頃が中干しの真ただ中で、以降本格的な出穂期を迎え田んぼには大量の取水が必要になるわけだが、報道によると今年の梅雨は短期集中型といわれ、短い期間に集中してまとまった雨が降る可能性があるため、田んぼの水不足と大雨被害の両方を念頭に置きながら、万全な準備を整えてまいりたいと考えている。 本日は、令和５年度の事業実績報告や、前回４月の協議会以降の進捗状況、課題等について審議いただく予定である。 未来に向けて、地域のより良い公共交通となるよう、皆様の知見や経験をもとに、建設的な意見交換が行われるようお願いしたい。
事務局	本日の出席者については、机上に配付した出席者名簿に代えさせていただく。 なお、前回の協議会以降、人事異動等により２人の委員に変更があったので報告する。はじめに、名簿２番ＪＲ東日本浦佐駅長の中島委員、次に、名簿５番ひかり交通代表取締役の佐藤委員が新たに就任した。 両名からご挨拶をいただく。
中島委員 (ＪＲ東日本新潟支社)	６月２０日付けで、浦佐駅長に着任した。前任者に引き続き、越後湯沢駅長も兼務となるので、越後湯沢、南魚沼、この魚沼地域も含めて、皆さんの協力を得ながら、いろんなアイディアを考え進めていければと考えている。よろしくお願い申し上げます。
佐藤委員 (ひかり交通株式会社)	５月２５日から、ひかり交通株式会社の代表を務めさせていただくことになった。主な業務として、堀之内地域の乗合タクシーを担当しており、日頃から皆さんにはお世話になっている。 今後ともよろしくお願い申し上げます。
事務局	両委員におかれては、任期の間よろしくお願い申し上げます。 さて、本日は報告事項が４件、協議事項が４件と議題が多いが、限られた時間の中で審議についてよろしくお願いしたい。 これより、協議会規約により議事進行を会長の内田市長に交代する。

３ 議 題

(報告事項)

(1) 令和５年度魚沼市乗合タクシーの運行実績について

事務局	《令和５年度魚沼市乗合タクシーの運行実績について（資料１）説明》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。 特にないようであれば、以上で報告事項(1)は終わりとする。

(2) 令和5年度入広瀬コミュニティバスの運行実績について

浅井委員 (入広瀬コミュニティ協議会)	《令和5年度入広瀬コミュニティバスの運行実績について(資料2)説明》
事務局	《補足説明》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	・ 昨年も指摘させていただいた繰越金について、これまでの決算余剰金の積み残しであるかのような説明であったが、これは過去の市職員公金外現金横領事件の返還金が原資となっているもの。 ・ 繰り返しになるが、毎年100万円を超える多額の繰越金を計上する会計処理はいかがなものか。補助事業という観点からすれば、市に返還という形を取るのが筋であり、今後毎年の事業費に充当していくという考え方には違和感を覚える。 ・ このような決算報告を受ける以前は、これまでの会議で1度も触れられてこなかったし、報告がなかったことにも疑問を感じている。 ・ 比較するわけではないが、乗合タクシー事業は国庫補助金が入っているものの、市補助金は実績に基づく精算分しか頂いていない。 ・ 年間運行時間2,159時間の内、待機時間が844時間もある。車両の整備や清掃等に時間を要するのは理解できるが、もう少しダイヤを工夫しながらコミュニティバスらしい柔軟な運行形態を構築して、地域の方からもっと喜ばれるように運行時間の有効活用を図ってはどうか。
事務局	・ コミュニティバス事業の内訳としては、市補助金を充当している補助運行分と、年会費等の自主財源で賄っている自主運行分とに会計区分を分けており、市職員公金外現金横領事件は市補助金が入っていない自主運行分の会計で発生した事案であるため、補助金の返還義務はないものと認識している。 ・ ダイヤについては、委員ご指摘のとおり更に充実したものとなるよう、見直しも視野に入広瀬コミュニティ協議会と検討を進めていきたいと考えている。貴重なご意見に感謝申し上げます。
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	自主運行分と言いつつも、運行している車両は市から提供されているものを使用しており、補助運行分と完全に分離されているわけではない。会計処理にしても、いつまでも疑念を抱かれるような状態を続けているのはいかがなものか。
事務局	繰越金の取扱いについては、ご説明申し上げたとおり安心安全な運行を維持するため有効に活用していきたいと考えており、今後も補助金の適正執行に努めていく。
内田会長 (魚沼市長)	今ほど質疑のあった繰越金の取扱い、運行ダイヤについては、今一度しっかりと整理した上で、改めて検討するようお願いする。

	ほかに質疑がないようであれば、以上で報告事項(2)は終わりとする。
--	-----------------------------------

(3) 湯之谷・守門地域における乗合タクシーの利用状況について

事務局	《湯之谷・守門地域における乗合タクシーの利用状況について（資料3）説明》
内田会長 （魚沼市長）	質疑はないか。
小島委員 （魚沼市タクシー協会）	湯之谷地域乗合タクシーの利用状況について、補足させていただく。 これまで月 20 人前後の利用者は地元の方が中心であったが、4 月以降急激に利用人数が伸びた大きな要因は、主に湯之谷温泉郷を訪れる観光客の利用である。 旅館組合等における P R も功を奏し、情報収集に長けている観光客の方々は、ご自身で利用方法などをきちんと調べて乗車予約を入れてくださり、観光利用の予約は連日途切れることがない。 非常に盛況が続いている一方で、駒ヶ岳登山口付近にはタクシー無線及び携帯電話の不通区間があることから、乗降トラブルを回避するためにも、運行区域については再度検討をお願いできればありがたい。
内田会長 （魚沼市長）	事務局で、運行区域が拡張された芋川以降の地区における利用状況は把握しているか。
事務局	拡張区域における詳細な数字については、現在持ち合わせていない。 小島委員のご意見については、確認の上検討させていただく。
宮腰委員 （長岡工業高等専門学校）	地域からの要望を受け、このたび両地域の乗合タクシー再編につながったものと認識しているが、利用促進の観点からも、沿線地域に対してこれまでどのような取組を行ってきたか。 また、小島委員が指摘した駒ヶ岳登山口付近については、安全確保の面からも、場合によっては運行区域の再検討が必要かもしれない。
事務局	新たな運行形態となる直前の本年 3 月、各地で再編内容を説明するミニ集会を複数回開催したほか、案内チラシの配布や回覧等を通じて地域の方々へ理解浸透を図ったほか、老人クラブ連合会、民生委員児童委員協議会をはじめ、関係の方々には個別に説明申し上げる機会を設け、限られた時間の中で草の根的に案内・周知を行ってきたところである。 また、地域活動に携わる市の集落支援員からも協力いただき、今回の再編内容に限らず、来月に予定している乗合タクシー利用促進月間の開催など、時事情報はその都度丁寧に提供するよう努めており、同様な取組は今後も継続していきたいと考えている。
内田会長 （魚沼市長）	ほかに質疑がないようであれば、以上で報告事項(3)は終わりとする。

(4) A I オンデマンド交通実証運行について

事務局	《A I オンデマンド交通実証運行について（資料4）説明》
内田会長 （魚沼市長）	質疑はないか。
佐藤委員 （守門地区 区長会）	前段で説明のあった乗合タクシーの再編については、当地域でも説明会を開催していただき、大変好評であった。 しかしながら、その一方で乗合タクシーを主に利用する高齢者は、オンデマンドやフルデマンドといった横文字の、違いや意味が分からない。交通用語として日本語には直訳できないのかもしれないが、今後案内する際は、見聞きするだけで拒否反応が出ないように、高齢者にも優しい表記となるよう工夫をお願いしたい。
事務局	用語や表記等について、誰もが分かりやすいように手法等の検討をさせていただく。
内田会長 （魚沼市長）	佐藤委員がご指摘の部分は重要な事柄であるので、事務局からは丁寧な対応をお願いする。 私から一点質問させていただく。実証運行では、自宅でも乗降が可能になるという理解でよろしいか。
事務局	想定している運行形態としては、ベースとなる小出地域乗合タクシーの停留所に加え、自宅を登録場所として設定可能にし、停留所間及び自宅でも乗降可能となるよう検討を進めている。
内田会長 （魚沼市長）	乗車予約は、運行時刻の何分前まで可能か。
事務局	導入システムの決定後に検討を予定しており、現時点で未定である。
小島委員 （魚沼市タ クシー協会）	簡単に言えば、A I オンデマンドは一般のタクシーに近い乗り物であって、タクシーとの違いは他のお客様と乗り合いになる分、料金は安価に設定されるものであると認識している。 現在の乗合タクシーは、各地域の運行事業者へ直接予約を入れる仕組みとなっているが、A I オンデマンドの予約については、専用ダイヤルを設けたコールセンターへ受付業務を移行し、スマートフォンのアプリからも予約が可能になる見込みである。 今回は小出地域内のみでの実証運行であるが、本格運行へ移行した際に、他の地域へのエリア拡大、運行車両の増加を見込むことができれば、待ち時間の短縮などお客様の利便性は高まっていくものと考えられる。
宮腰委員 （長岡工業 高等専門学 校）	A I オンデマンドは各地で導入が進んでおり、運用の仕方も自治体によって様々な形態がある。 まだ詳細が決まっていないということであるが、予約受付時間や停留所の数等によっても運行に相当な差が出てくるため、これらの運行形態やシステムの構築を今後詰めていく必要がある。

	また、A I オンデマンドの導入に伴い小出まちなか循環線を廃止することであるが、既存の小出地域乗合タクシーの運行は継続するのか否かなど、実証運行の準備とともに、全体像についても検討を進めていただきたい。
浅井委員 (入広瀬コミュニティ協議会)	既存の乗合タクシーは、基本的に市内各地域と小出市街地を結ぶルートとなっているが、今後は地域横断型の運行形態となるのか。 例えば、将来的に入広瀬地域から小出地域まで、A I オンデマンドによって移動が可能になるのか。
事務局	今回の小出地域における実証運行の結果を検証した上で、運行区域の拡大や運行形態についても検討していくこととなるので、現時点で詳細は申し上げられない。
浅井委員 (入広瀬コミュニティ協議会)	承知した。 検討の中で様々な課題も出てくると思うが、本協議会でいろんなご意見も伺いながら、交通事業者の協力を得た中でより良い方向へ進めていただきたい。
内田会長 (魚沼市長)	まずは、小出地域に限定した実証運行の実施にご理解いただき、その後については、検証結果を踏まえた上で公共交通全体の検討段階に入っていくということである。
井口委員 (魚沼市自立支援協議会)	A I オンデマンドの運行区域が、将来的に他の地域まで拡大されていくことを期待したい。 一方で、既存の乗合タクシーや路線バスしかり、自身で身動きの取れる健常者のみを対象とした利用環境となっている感が否めない。障害者や高齢者の中には、乗り降り等の際に補助を必要とする方々もいるので、自宅での乗降が可能となるなど利便性が高まっていくものとすれば、利用者を制限することなく、生活弱者の利用も想定した事業展開となるようお願いする。
内田会長 (魚沼市長)	貴重なご意見であるので、そのような対応もしっかりと検討するようお願いする。
事務局	市では、障害者や高齢者等の方を対象に、福祉有償運送という移動サービスも実施していることから、制度の位置付け等を整理・調整した中で、担当部局とも検討させていただきたいと考えている。
武藤委員 (南越後観光バス株式会社)	今回の実証運行は小出地域内限定ということであるが、将来的にエリアが拡大されていった際は、バス路線とA I オンデマンドの運行区域が重複することが想定される。 その場合は、相互に非効率な運行とならないよう、弊社バス路線についても、そのタイミングで見直しや調整を検討させていただきたい。 他の自治体で同様な取組を行ったところ、非常に非効率な交通形態となり、結果的に無駄が生じてしまったという話も聞いたことがある。

内田会長 (魚沼市長)	貴重なご意見として参考にさせていただく。
事務局	A I オンデマンドの導入で全てが完結するとは考えておらず、地域の交通資源である路線バス、乗合タクシー、コミュニティバス等には、それぞれの役割があるものと認識している。 あらゆる交通資源を総動員して、地域の効率的な移動手段の確保については引き続き検討していく必要があることから、今後も本協議会等での合意形成にご理解とご協力をお願いしたい。
内田会長 (魚沼市長)	ほかに質疑がないようであれば、以上で報告事項(4)は終わりとする。

(協議事項)

(1) 令和5年度事業報告及び歳入歳出決算について

事務局	《令和5年度事業報告及び歳入歳出決算について(資料5)説明》
内田会長 (魚沼市長)	続いて、代表して上村監査員から会計監査報告をいただく。
上村委員 (根小屋連 合自治会)	令和6年6月11日、魚沼市役所本庁舎にて、事務局立会いの下、星監査員と2人で会計監査を行った。 関係諸帳簿及び証拠書類によって監査した結果、出納及び帳簿類は適正であり、現金及び預金は相違ないと認めることを報告する。
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。 特にないようであれば、承認することで異議はないか。
委員一同	異議なし【承認】

(2) 地域公共交通計画「別紙」(フィーダー系統)(案)について

事務局	《地域公共交通計画「別紙」(フィーダー系統)(案)について(資料6)説明》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。 特にないようであれば、国土交通省の所定の審査の段階で生じた軽微な修正等については、事務局へ対応を一任することも含め、承認することで異議はないか。
委員一同	異議なし【承認】

(3) 地域公共交通計画「別紙」(地域間幹線系統)(案)について

事務局	《地域公共交通計画「別紙」(地域間幹線系統)(案)について(資料7)説明》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。 特にないようであれば、先ほどの協議事項(2)フィーダー系統と同様に、国土交通省の所定の審査の段階で生じた軽微な修正等については、事務局へ対応を一任することも含め、承認することで異議はないか。
委員一同	異議なし【承認】

(4) 自家用有償旅客運送の更新登録申請(案)について

浅井委員 (入広瀬コミュニティ協議会)	《自家用有償旅客運送の更新登録申請(案)について(資料8)説明》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。 特にないようであれば、本案については、本協議会において協議が調ったものと認めることで異議はないか。
委員一同	異議なし【承認】

4 その他

内田会長 (魚沼市長)	以上で、本日の議題は全て終了した。 最後に、事務局から連絡等があったらお願いします。
事務局	特に資料の用意はないが、例年と同様に、7月1日から31日までの1か月間を乗合タクシー利用促進月間とし、料金を無料とする。 市報での案内のほか、集落支援員や民生委員等を通じて関係方面へ周知を図っているところであり、これを一つの機会として、乗合タクシーの利用者増加につなげていきたいと考えている。 各委員からも、本取組の周知についてご協力をお願いしたい。
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	報告事項(1)で、昨年7月の利用促進月間における利用人数の説明があったが、これは昨年全体の実績に含まれているという理解でよい。
事務局	お見込みのとおりである。
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	せっかくの良い取組であるので、今後の判断材料とするためにも、開催月前後の利用状況の変化にも注視しながら、統計的にデータを蓄積、分析していった方がよい。

武藤委員 (南越後観光バス株式会社)	乗合タクシーの利用促進月間中においては、やはり料金が無料ということで、日頃路線バスを利用している方が、その期間は乗合タクシーへスライドするという現象が若干起きている。 路線バスの収支に少なからず影響を及ぼしていることも考慮していただき、今後の実施方法等については検討願いたい。
内田会長 (魚沼市長)	そのほか、委員の皆さんから意見等はないか。
武藤委員 (南越後観光バス株式会社)	弊社で運行している路線バス「小出～穴沢線」について、お客様の利用状況を鑑み、10月1日にダイヤの一部改正を予定している。 本路線は、入広瀬地内でコミュニティバスと接続していることから、具体的なダイヤの見直し等については、事務局及び入広瀬コミュニティ協議会と調整させていただきたいと考えている。
内田会長 (魚沼市長)	ほかになければ、全ての議事について以上で終了とする。 いずれにしても、公共交通を利用するのは市民の皆さんである。委員の皆さんからも、それぞれの立場で市民の声を届けていただくようお願いしたい。 議事の進行についてご協力いただき、感謝申し上げます。 進行を事務局へお返しする。

5 閉 会

事務局	閉会に当たり、宮腰副会長からご挨拶をいただく。
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	本日は話題に出なかったが、全国的に交通事業者のドライバー不足が大きな課題となっており、中でもバス運転手不足は深刻で、当地域においても無関係ではないものと推察する。 今年は、A I オンデマンド交通の実証運行が予定されているが、他の先行事例をみると、良い面や悪い面、様々な課題が浮き彫りとなってきているようである。 当地域の実証運行については、関係者の意見も取り入れながら、しっかりとした検討を進めていただくようお願いして終わりとする。

別紙

令和6年度 第2回（第47回） 魚沼市地域公共交通協議会 出席者名簿

（敬称略）

No.	所 属 等	職 名	氏 名	備 考
1	魚沼市	市長	内田 幹夫	会長
2	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社長岡統括センター	浦佐駅長	中島 宏明	兼湯沢駅長 （新任）
3	南越後観光バス株式会社	乗合営業部 部長代理	武藤 文昭	兼小出所長
4	魚沼市タクシー協会	会長	小島 由紀子	
5	ひかり交通株式会社	代表取締役	佐藤 貴宗	（新任）
6	入広瀬コミュニティ協議会	会長	浅井 宏一	
7	北陸地方整備局長岡国道事務所計画課		（欠席）	
8	新潟県魚沼地域振興局地域整備部		（欠席）	
9	魚沼市産業経済部建設課	課長	星 和 久	監査員
10	新潟県小出警察署		（欠席）	
11	根小屋連合自治会	会長	上 村 勤	監査員
12	小出干溝区連合自治会		（欠席）	
13	湯之谷地区自治会長連絡協議会	会長	石 田 靖	
14	広神連合自治会	会長	山之内 隆	
15	守門地区区長会	会長	佐藤 忠雄	
16	入広瀬地域区長会		（欠席）	
17	長岡工業高等専門学校	名誉教授	宮腰 和弘	副会長
18	北陸信越運輸局交通政策部交通企画課		（欠席）	
19	北陸信越運輸局新潟運輸支局		（欠席）	
20	新潟県魚沼地域振興局地域振興グループ	地域振興専門員	柳田 正和	
21	新潟県立小出高等学校	校長	南方 伸之	
22	魚沼市老人クラブ連合会	副会長	佐 藤 彰	
23	魚沼市自立支援協議会	会長	井口 正博	
24	（一社）日本労働組合総連合会新潟県連合会中越地域協議会		（欠席）	
25	魚沼市市民福祉部介護福祉課	課長	茂 野 孝	